

＜テーマ＞ 学習過程の段階に「つたえたい」を取り入れた取組

(大崎市立古川第五小学校)

1 「算数ステップアップ5」を意識しながら授業に取り組むために、研究授業の学習指導案の学習過程の段階に、「ときたい」「つたえたい」「いかしたい」を取り入れた。「つたえたい」は「広げる・深める」段階ととらえ、自分の考えを3人の友達と伝え合う活動を取り入れ、共通点や違いに気付かせる場を設定した。

(1) 第6学年2組の学習過程の例 (少人数指導)

段階	主な学習内容 ○発問 ◇指示 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 【手立て】
つたえたい 広げる・深める 20分	<p>5 考えを伝え合う。 ◇自分の考えを3人に伝え、また友達の考えを聞いてきましょう。友達の考えと同じところや違うところを探しましょう。途中までしかできなかった人はできたところまででよいので伝えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は・・・と考えたけど、○○さんはどんなふうに考えましたか。 ・ぼくも・・・と考えたから同じだね。 ・私は、・・・と考えたから、少し違うところもあるね。 <p>6 全体で学び合う。 ◇自分と同じ考えだった人はいましたか。違う考えの人はいましたか。分かりやすかった説明の人がいたら、教えてください。</p> <p>○全てに共通しているところはどこですか。 ・比例の関係を使っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決後に教室を自由に歩いて、3人の友達と交流させて、共通点や相違点を明確にさせる。【手立て】 ・伝え合いのルールを決めて、互いに伝え合うことを意識させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決途中でも、友達のところに行き説明をする。 ・自分のやり方を3人と伝え合う。 ・聞きながら書かないで、しっかり聞く。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で学び合う場合は、児童から説明が分かりやすかった児童を聞き出し、児童のワークシートを黒板に掲示して説明させる。さらに違う考えの児童を指名して説明させ、互いの良さに気付かせる。【手立て】 ・教科書掲載の考えをしている児童が全て紹介されない場合には教科書を開き、違った考えに触れさせる。

(2) 実践後の成果と課題

- ・ 「自分の考えを友達に伝えよう」「友達の考えを聞いてみよう」と活動の目的をもたせたことで意欲的に取り組んだ。「3人と伝え合おう」という投げ掛けは効果的だった。
- ・ 伝え合いのとき、児童は複数で集まりがちになるので、必ず「一対一」で話すようにさせるとよい。また、同性の仲の良い友達のところに行きがちなので、必ず男子と女子のところに行くことを呼び掛ける必要がある。